

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	東京都

(2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		東京体育館							
事業所の所在地		東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目17番1号							
業種等	事業の業種	分類番号	N80	N_生活関連サービス業_娯楽業	娯楽業				
		産業分類名	娯楽業						
	事業所の種類	主たる用途	文化						
		建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	45,331.53	m ²	基準年度	45,331.53	m ²	
		用途別内訳	事務所	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			情報通信	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			放送局	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			商業	前年度末	321.92	m ²	基準年度	321.92	m ²
			宿泊	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			教育	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			医療	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			文化	前年度末	43,728.85	m ²	基準年度	43,728.85	m ²
			物流	前年度末		m ²	基準年度		m ²
駐車場	前年度末		1,280.76	m ²	基準年度	1,280.76	m ²		
工場その他上記以外	前年度末		m ²	基準年度		m ²			
事業の概要		・施設提供業務(メインアリーナ・サブアリーナ・屋内プール・トレーニングルーム・陸上競技場・会議室等) ・カウンセリング事業(健康体力相談室) ・スポーツ事業(都民を対象としたスポーツ事業)							
敷地面積		45,815.86 m ²							

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	株式会社 オーエンス 中央監視室
	電話番号等	03-3478-2219
公表の担当部署	名称	公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
	電話番号等	03-6380-4832

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： http://www.tef.or.jp
	窓口で閲覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	冊子	冊子名：
		入手方法：
その他	アドレス：	

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2022	年度	事業所の使用開始年月日	1990	年	4	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2024	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

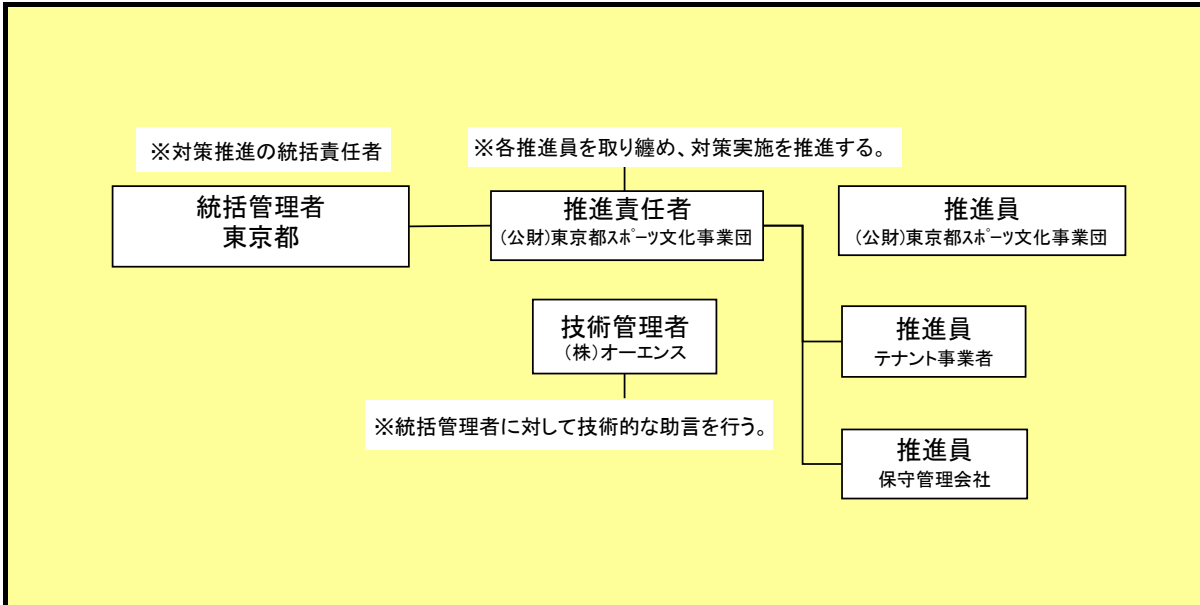
当施設では、目頃から環境問題への積極的な活動を推進しており、以下の点を重視して地球温暖化対策に取り組んでいる。

(1) 施設における省エネの取り組み
 今なお地球温暖化問題の重要性を理解し、維持管理業務においても積極的に設備温室効果ガスの排出抑制に努める。
 省エネ診断等の機会を積極的に活用し、設備、機器運用において省エネ化を推進する。

(2) 普及啓発活動
 職員及び施設関係者の環境問題への関心を高め、節電および省エネに伴う照明の部分消灯、空調機の弱冷房運転を実施することについて利用者の方々へご理解いただくとともに協力を得られるように省エネ運営を啓発していく。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：
 太陽光発電パネルの設置および再エネ電力の購入により、再生可能エネルギーの使用を進めていく。

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2025 年度から 2029 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	削減目標を達成するため、空調管理やエネルギーロスの低減に務める。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当施設における「特定温室効果ガス以外の温室効果ガス」は上下水道の排出にかかわるCO2の排出が主となっているため、節水などで排出量の削減に務める。		
削減義務の概要	基準排出量	4,034 t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量（削減義務期間合計）	13,514 t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	33%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2030 年度から 2034 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	空調設備の見直し等設備面での排出量削減対策の実施によって削減基準目標の達成を目指す。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	現在の削減計画期間の削減計画の継続的な実施により、引き続き排出量の削減に務める。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス （エネルギー起源CO ₂ ）			2,936	3,337	4,152	4,110
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）					
	メタン（CH ₄ ）					
	一酸化二窒素（N ₂ O）					
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）					
	パーフルオロカーボン（PFC）					
	六ふっ化いおう（SF ₆ ）					
	三ふっ化窒素（NF ₃ ）					
上水・下水			16.1	36.5	42.1	46.8
合計			2,952	3,374	4,194	4,157

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量		64.8	73.6	91.6	90.7

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ ）
<input checked="" type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 1
----------	-------

(4) 削減義務期間

2024年度から 2024年度まで

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計	
決定及び予定の量	基準排出量 (A)					4,034	4,034	
	削減義務率 (B)					17.00%		
	排出上限量 (C = Σ A - D)							3,349
	削減義務量 (D = Σ (A × B))							685
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)				0	4,110	4,110	
	排出削減量 (F = A - E)					-76	-76	

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	施設の利用率上昇、並びに全国的な酷暑による空調使用率の上昇が要因と考えられる。		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No.	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
	【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】				
1	110100	11_推進体制の整備	地球温暖化対策推進体制の整備		
2	150200	15_照明設備の運用管理	ライトダウンの提案		
3	150200	15_照明設備の運用管理	照明の間引き点灯		
4	150200	15_照明設備の運用管理	メインアリーナ競技用照明のLED化	2019年実施済み	
5	150200	15_照明設備の運用管理	サブアリーナ競技用照明のLED化	2019年実施済み	
6	150200	15_照明設備の運用管理	外灯照明のLED化	2019年実施済み	
7	150200	15_照明設備の運用管理	トイレ照明 人感センサー導入	2013年実施済み	
8	150200	15_照明設備の運用管理	個別電力モニターの導入	2013年実施済み	
9	120100	12_燃焼設備の管理	蒸気ボイラーの更新(2台)	2013年実施済み	
10	120100	12_燃焼設備の管理	冷温水発生器の更新	2013年実施済み	
11	120100	12_燃焼設備の管理	冷温水発生器 撤去(1台) 冷凍機の新設 (1台)	2013年実施済み	
12	120100	12_燃焼設備の管理	冷却水および冷温水一次ポンプ等の更新	2013年実施済み	
13					
14					
15					
16					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No.	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
17					
18					
19					
20					
		(再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況)			
71	500100	50_再生可能エネルギーの 設備導入	太陽光パネルの導入	2010年実施済み	
72					
73					
		【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】			
81					
82					
83					
		【排出量取引の計画及び実施の状況】			
91	180100	18_排出量取引	クレジットの購入を行う	2026年購入予定	
92					
93					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

(1) 施設における省エネの実践

①空調設定温度の上昇

夏期(6月～9月)において職員及び施設関係者の夏期軽装(クールビズ)での出勤・執務を励行・実施することにより、空調設定温度を上げて運転し、電力削減に務めた。

②省エネルギーに対応した機器の更新

【LED照明の導入】

メインアリーナ・サブアリーナの競技用照明(天井照明)を中心に館内外各所の照明をLED化した。

[2019年更新]

【蒸気ボイラーの更新】

炉筒煙管ボイラーから高効率 貫流ボイラーに更新

[2013年完了]

【冷温水発生器の更新】

高効率 タイプへ更新

[2013年完了]

【冷却水及び冷温水一次ポンプ等の更新】

高効率 タイプへ更新

[2013年完了]

【空調設備の更新に伴う空調機へのインバータ制御機器の導入】

高効率インバータータイプへ更新

[2013年2月完了]

【ろ過ポンプ インバーター導入】

プール系 ろ過ポンプにインバーター タイプへ更新

[2013年完了]

【トイレ照明 人感センサー導入】

各トイレ照明を人感センサー化

[2013年完了]

③夜間電力の抑制

平日23時00分までプール及びマシニングム並びに陸上競技場を営業しているため、職員及び施設関係者の遅番勤務者は各自終電に間に合う時間で退出・帰宅しているが、遅くとも日付変更時(0時00分)までの最終退出を呼びかけており、ほぼ実行されている。

④ガス冷房設備の導入による電力負荷の低減

ガスエンジンでコンプレッサーを動かすことで電力の抑制をし、また、エネルギー効率が高いガス冷房設備(GHP)を導入することで環境負荷への配慮を行っている。

(2) 施設における自然エネルギーの利用

太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの利用を実施している。

[2010年4月より稼働、現在運用中]

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

サブアリーナの屋上部分に太陽光パネルを設置し、発電で使用電力の一部を賄っている。また、一定の再生可能エネルギー割合を保つ電力事業者からの電気の買い付けを行っている。